

水ときらめき紀の川館に巨大流木の 一部を展示しています。

H.23の台風12号の後に、紀の川に突然現れた巨大流木の一部(根の部分)をH25.5.20より、水ときらめき紀の川館に展示しています。
この流木は、高さ7m、幹の周り約12m、重さは約40トン(アフリカ象8頭分)あります。流木はクスノキであり、樹齢350年であり、西暦650年から690年の間か西暦750年から760年の間に生きていたものとのことです。和歌山県の許可をいただき、クスノキの一部を、水ときらめき紀の川館に展示しています。
クスノキの本体は、和歌山県立紀伊風土記の丘(〒640-8301 和歌山市岩橋1411)に移されます。

巨大流木紀の川に
出現！！



引き上げられた流木

引き上げ時の写真



巨大流木引き上げ前の様子
(平成23年9月)



70t及び50tクレーンでのつりあげ作業(平成24年8月3日)



河川敷に仮置された巨大流木
(平成24年8月30日)



NHK和歌山放送局による取材
(平成24年9月26日)



巨大流木展示全体の様子